

(5) 企画編集担当者

指導主事 松浦 淳一

6 教育庁各課(所・館)の広報紙(誌)

総務課以外の各課(所・館)の広報刊行物は、次のとおりである。

刊行物名	課(所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
学校教育	義務教育課	年5回	B5	32	1,600
高校ふくしま	高等学校教育課	3	"	30	550
社会教育	社会教育課	5	"	20	2,500
体育時報	保健体育課	2	"	30	1,500
ふくしま福利だより	福利課	4	"	8	23,000
所報	教育センター	5	"	24	1,500
館報あづま	県立図書館	隔月	B4	8	2,000
所報	少年自然の家	3	B5	8	1,000
県北の教育	県北教育事務所	3	"	4	3,600
県中教育	県中教育事務所	4	"	4	4,200
教育広報県南	県南教育事務所	4	"	4	1,600
あいづね	会津教育事務所	4	"	4	2,900
教育広報南会	南会津教育事務所	3	"	4	750
教育広報相双	相双教育事務所	2	"	4	2,000
教育広報いわき	いわき教育事務所	3	"	4	2,500
教育事務所要覧	各教育事務所	1	"	14~28	

7 教育長定例記者会見

教育に対する県民の期待と関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進を図るため、48年度から定期的に教育長と県政記者(14社)の会見を行っている。

日時 原則として毎月第3月曜日、午後1時30分

会場 教育委員室

内容 県民に広報することを必要とする重要な施策及び行事等

昭和49年度に取り上げた内容は、次のとおりである。

4月 昭和49年度福島県公立高等学校入学者選抜の結果について

8月 昭和48年度福島県立高等学校卒業生(全日制)進路状況について

、関和久遺跡出土植物種子について

10月 福島県産業教育審議会の第一次答申「本県における産業教育のあり方について」

合同銀婚祝賀式について

文化講演会について

1月 昭和50年度予算要求重点事項概要について

8 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として、47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、49年度は、次の3会場で行った。

第1回 相双会場(浪江公民館) 5月23日

第2回 県中会場(須賀川市役所) 6月13日

第3回 会津会場(会津坂下町体育館) 9月6日

(1) 目的

県教育委員会の行政施策について、地域住民や教育現場代表者等の意見・アイデア等を聞き、本県教育行政の参

考とする。

(2) テーマ

① 相双会場

地域における体育・スポーツの振興を図るには、どのような条件を整備すればよいか。

一指導体制の強化と現有施設の活用を中心として一

② 県中会場

地域社会の要請に応じた社会教育を推進するには、どうしたらよいか。

一青少年の健全育成を中心として一

③ 会津会場

地域ぐるみの交通事故防止対策について、どのような方策を講じたらよいか。

一交通安全協力体制の確立・通学路の安全確保をめざして一

(3) 参加者

① 相双会場 24名

社会教育(体育)関係者、教職員、市町村行政・教育行政担当者

② 県中会場 23名

学校関係者、PTA関係者、社会教育関係者、青少年育成指導者、青少年行政担当者、企業内青少年指導者

③ 会津会場 23名

市町村教育委員会関係者、市町村行政関係者、PTA関係者、学校関係者、警察・交通機関・交通安全協会関係者

(4) 県教育委員会(教育庁)からの出席者

開催地区の県教育委員、県教育長、教育次長(1名)、各課長、教育庁主幹及び広報係、開催地教育事務所長及び職員

9 県政広報との提携

(1) 県政テレビ

① 茶の間の県政(FTV毎日曜8:00~8:25a.m.)

5月5日 子供の日にちなんで

10月6日 「若人の翼」帰る

3月16日 これからの教育—おもしろい心とたくましさ

② FTVレポート(月~金 6:00~7:00p.m.)

10月1日 保健体育で全国表彰(会津若松市大戸小)

③ みんなの広場(FCT毎月曜11:00~11:45a.m.)

6月17日 文化のふるさと(棚倉町)

7月22日 ほくらの夏休み

7月24日 学校でも賢い消費者づくり

8月19日 生がい教育

10月14日 「若人の翼」のって

11月4日 文化功労者と語る

(2) 県政ラジオ

みなさんとともに(RFC毎日曜7:10~7:25a.m.)

11月3日 文化の日にちなんで

1月12日 ふくしまの正月

(3) 県政新聞

6月1日 いまの教育(県民だより)